

基地港湾の指定等の意向のある港湾(ふ頭)について

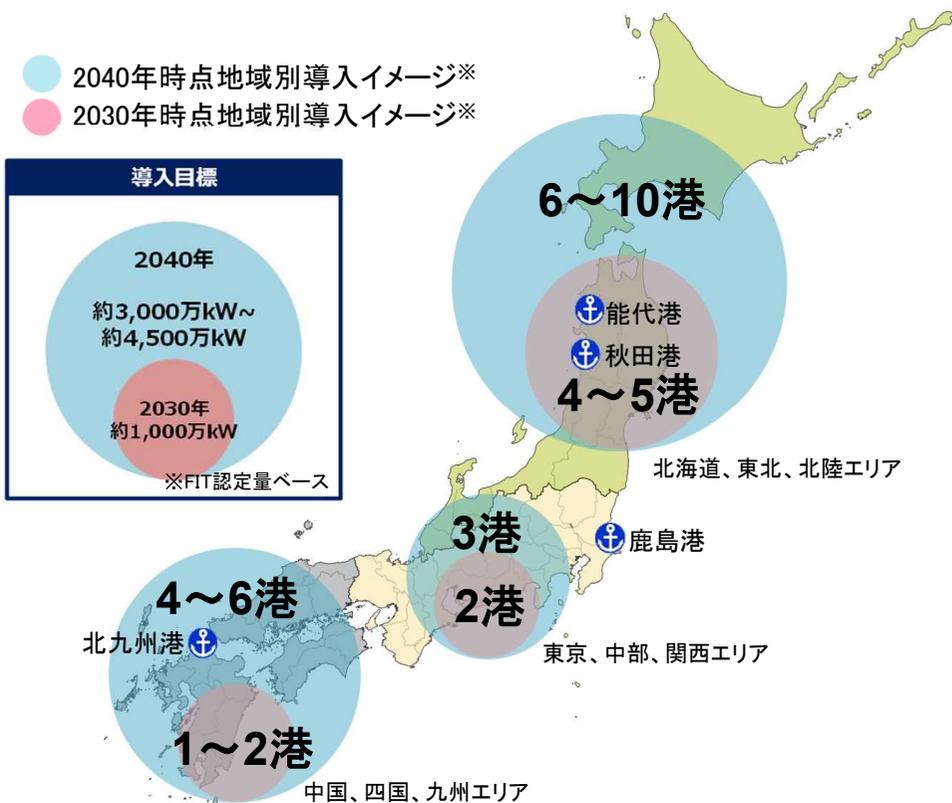
令和4年9月20日

国土交通省 港湾局

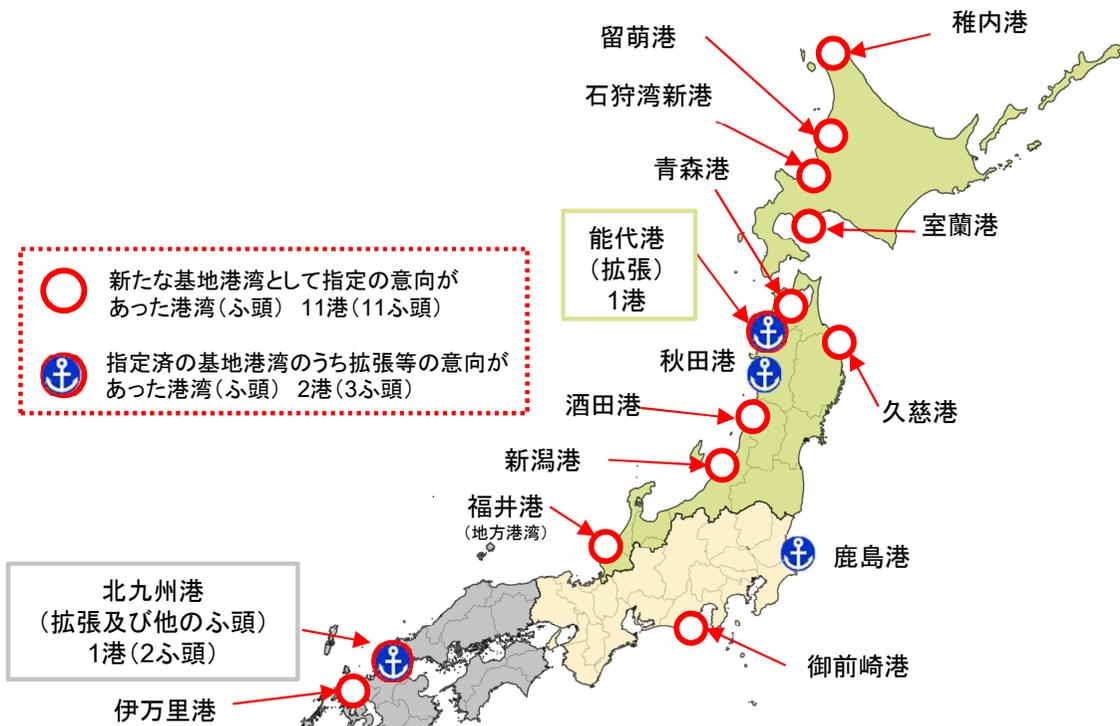
洋上風力発電の基地港湾の指定等の意向のある港湾(ふ頭)の調査結果について

- 洋上風力発電の基地港湾指定に関する意向調査を実施(令和4年3月11日～5月13日)した結果、11港(11ふ頭)の港湾管理者から基地港湾の指定、2港(3ふ頭)から基地港湾の拡張の意向が示された。
- 今回の意向調査では、基地港湾の必要数の目安に対して、エリアごとに偏りのある意向が示された。また、個々の港湾については、工期短縮や既存ストックの有効活用等によるコスト縮減の方策、長期的視点に立った港湾機能との調和等について引き続き検討する必要がある。
- なお、今後の基地港湾の指定については、洋上風力発電の案件形成の状況等を踏まえ、指定済みの基地港湾を最大限活用しつつ、基地港湾の指定の必要性が高まった段階で、指定に係る基準への適合性を確認したうえで指定の判断を行う。

地域別の基地港湾の必要数の目安(試算)



港湾管理者より意向調査票の提出があった港湾



エリア	基地港湾の必要数の目安	計	指定済みの	新に意向が
			基地港湾	示された港湾
北海道、東北、北陸	6～10港程度	11港	2港	9港
東京、中部、関西	3港程度	2港	1港	1港
中国、四国、九州	4～6港程度	2港	1港	1港

(出所)2050年カーボンニュートラル実現のための基地港湾のあり方検討会を基に作成

(参考)基地港湾の指定等の意向のある港湾(ふ頭)

留意点

- 本表に掲載されている港湾は、港湾管理者から将来的に基地港湾の指定を受けたいと意向のある港湾や指定済みの基地港湾で拡張等の意向のある港湾を整理したものであり、基地港湾の指定が約束されたものではない。
- また、本表に掲載されている港湾について、工期短縮や既存ストックの有効活用等によるコスト縮減の方策、長期的視点に立った港湾機能との調和等について引き続き検討する必要がある。

※ 本表は令和4年5月時点の意向調査結果を元に作成したものであり、今後、港湾管理者において検討のうえ内容が変更される可能性がある。
 ※ 本表に掲載されているすべての港湾(ふ頭)において、地耐力の強化が必要である。

基地港湾の指定の意向のある港湾

※PA: プレアッセンブリ

港湾名	埠頭名	PAエリアの岸壁水深(m)		PAエリアの岸壁延長(m)		隣接岸壁の有無	用地面積(ha)	
		現状	整備後	現状	整備後		現状	整備後
北海道・東北・北陸ブロック								
稚内港	末広地区 末広埠頭	-12	-12	240	240	有	16	16
留萌港	三泊地区 三泊埠頭	-12	-14	240	520	有	36.3	47.7
石狩湾新港	新港東地区 東埠頭	-10	-12	185	230	有	12.6	13.6
室蘭港	崎守地区 崎守埠頭	-12	-12	240	240	有	17.5	17.5
青森港	油川地区 油川埠頭	-	-12	-	460	有	10.9	17.1
久慈港 ※浮体式洋上風力発電設備への対応の意向あり	諏訪下地区 諏訪下埠頭	-	-12	-	300	無	4.1	20
酒田港	外港地区	-	-12	-	230	無	41	41
新潟港	(東港区) 南ふ頭地区 南ふ頭	-10	-12	230	230	無	29	29
福井港 (地方港湾)	中央地区 中央ふ頭	-10	-10	185	185	無	2.4	15
東京・中部・関西ブロック								
御前崎港	女岩地区 西ふ頭	-	-14	-	700	無	13	40
中国・四国・九州ブロック								
伊万里港	浦ノ崎地区	-	-12	-	230	無	43	43

指定済みの基地港湾で拡張等の意向のある港湾

港湾名	埠頭名	PAエリアの岸壁水深(m)		PAエリアの岸壁延長(m)		隣接岸壁の有無	用地面積(ha)	
		現状	整備後	現状	整備後		現状	整備後
能代港	大森地区 大森埠頭	-10	-12	180	230	有	8	15
北九州港	響灘東地区	-10	-10	180	180	有	8	12.5
	響灘西地区 ※浮体式洋上風力発電設備への対応の意向あり	-	-15	-	540	無	39.8	39.8

(参考)2050年カーボンニュートラル実現のための基地港湾のあり方に関する検討会とりまとめより

50万kW規模の発電所の施工に必要な基地港湾の規模(面積)

○ プレアッセンブリエリアの岸壁のみ利用 : 約 27.5~32.0 ha

○ プレアッセンブリエリアの岸壁及び隣接岸壁を利用 : 約 12.5~14.5 ha